

阿佐谷・馬橋村地域の近・現代の歴史・文化にふれる

約6,000歩

① ^{まばし}馬橋稲荷神社 (3311)8588

阿佐谷南 2-4-4

馬橋村の鎮守社。柱に龍が刻まれた珍しい石造りの鳥居は、昭和7（1932）年の東京市の拡大を記念して建立されました。昭和40（1965）年の住居標示改正の折に、馬橋の地名を残すため、社名を「馬橋稲荷神社」と改称しました。

② ^{けやし}「櫛屋敷」 阿佐谷北 1-6-5

阿佐ヶ谷村名主相沢家の屋敷森で、同家邸宅とあわせて「櫛屋敷」と呼ばれました。東京都の旧跡指定をうけた大正8（1919）年当時は、丈40mに及ぶ櫛が40本程あったと伝わりますが、昭和20（1945）年5月の空襲で建物と多くの櫛を焼失しました。



③ 阿佐ヶ谷神明宮 (3330)4824

阿佐谷北 1-25-5

阿佐ヶ谷村の鎮守社。江戸末期からの伝統がある阿佐ヶ谷囃子は祭礼時などに演じられました。戦争で一時中断しましたが、保存会によって現在も受け継がれています。

④ ^{せそんいん}世尊院 (3338)1410

阿佐谷北 1-26-2

15世紀初めに阿佐谷の宝仙寺が中野へ移転した後、地元村民のために残された子寺といわれます。本堂には、杉並村が誕生した明治22（1889）年から大正11（1922）年まで、同村の役場が置かれました。真言宗（豊山派）寺院。

⑤ ^{ほうせんあん}法仙庵 (3338)6641

阿佐谷北 2-38-22

文久年間（1861～1863）に村の共有地へ設けられた共同墓地を端緒とする曹洞宗寺院です。②にある空襲で、阿佐谷北ではこの法仙庵とその南側、阿佐谷南では杉並第六小学校から阿佐ヶ谷駅付近までが焼失する被害を受けました。

⑥ 「お伊勢の森」

阿佐谷北 5-45

お伊勢の森児童遊園から区立杉森中学校の一带は、かつて③の社地でした。同宮が伊勢神宮を勧請していることにちなみ、「お伊勢の森」と呼ばれています。

⑦ 民間信仰石塔

阿佐谷北 5-42

地藏塔2基と阿弥陀塔・庚申塔・供養塔各1基ずつの計5基があり、江戸時代中期における阿佐ヶ谷村の信仰を知る上で貴重です。付近は、天沼方面から青梅街道に通じる旧道などがある、村の中心地でした。

ワンポイント解説

～阿佐谷七夕祭り～

戦後復興した阿佐谷南大通り商店街（現、阿佐谷パールセンター）が、昭和29（1954）年に始めたお祭りです。毎年8月に開催され、手作りの「はりぼて」が飾られるのが特徴です。

